



BLAK GATS

◎ 年度賞おめでとう ◎

2005年度 日本カメラ誌 カラーズライドの 年度賞 決定 "

高山隆次 1位
岩城 治 5位

☆入賞おめでとう☆

高山隆次	日本カメラ誌 12月号	カラーズライドの部	金賞 (新興住宅街)
岩城 治	日本カメラ誌 12月号	カラーズライドの部	銀賞 (窓際)
井上修一	キャノンサークル誌	カラーの部	準佳作(兄弟)
井上修一	連合大阪写真コンクール		特別賞
高橋一郎	166回サロンドニッコール	カラーの部	3席
高橋一郎	コニカミノルタ フォトスクウェア2005年秋号		秀作
高橋一郎	ペンタックスファミリー	モノクロの部	1等
高橋一郎	ペンタックスファミリー	カラーの部	入選

☆入賞作品から☆



日本カメラ誌 10月号 カラーズライドの部
高山隆次 金賞(いつもの午後)

評 賞も10年を経て、高くなって来た新刊誌は毎々に異なるが、人それぞれの感性の違いもあり、多くのことが出来るだろう。自分の思いを写真に写し取っていく行為は、自分が感じた瞬間の感動を伝える行為である。すでに昨日を暮らす、この世から消え去る運命にある。逝き去るやうな瞬間の静かさを感ずるが、瞬間

と静けさは別の意味で、この瞬間ある世界ではあるが、作者は気づいてはなかったであろう人間の営みに思いを馳せ込らしている。仕事を終えて汗を流して行かなくてはならないのが、いつもの午後の窓際は空気が冷たいが、それも今日までで、明日は冷たいかも知れないという静けさと感じさせる。真実な作品である。

日本カメラ誌10月号カラーズライドの部



評 賞も10年を経て、高くなって来た新刊誌は毎々に異なるが、人それぞれの感性の違いもあり、多くのことが出来るだろう。自分の思いを写真に写し取っていく行為は、自分が感じた瞬間の感動を伝える行為である。すでに昨日を暮らす、この世から消え去る運命にある。逝き去るやうな瞬間の静かさを感ずるが、瞬間

評 賞も10年を経て、高くなって来た新刊誌は毎々に異なるが、人それぞれの感性の違いもあり、多くのことが出来るだろう。自分の思いを写真に写し取っていく行為は、自分が感じた瞬間の感動を伝える行為である。すでに昨日を暮らす、この世から消え去る運命にある。逝き去るやうな瞬間の静かさを感ずるが、瞬間

日本カメラ誌10月号モノクロの部



評 賞も10年を経て、高くなって来た新刊誌は毎々に異なるが、人それぞれの感性の違いもあり、多くのことが出来るだろう。自分の思いを写真に写し取っていく行為は、自分が感じた瞬間の感動を伝える行為である。すでに昨日を暮らす、この世から消え去る運命にある。逝き去るやうな瞬間の静かさを感ずるが、瞬間

☆ 写真展 ☆

- 10/14~19 くずは写真倶楽部 枚方市民ギャラリー
- 10/28~2 全日写連枚方支会 枚方市民ギャラリー
- 11/4~9 写遊 案山子 枚方市民ギャラリー

☆コンテスト案内☆

- 第46回 富士フィルムフォトコンテスト 締め切り10/21
- 第39回 キヤノンフォトコンテスト 締め切り10/31

すがわら公民館だより 12月分 次回当番は(岩田 進)
臨時例会 10/30 菅原公民館
pm2:00~3:00 各自額装

すがわら 2005
公民館だより 10

次回例会は **11月19日** (土) 菅原公民館 交流室 pm5:30~8:00